

日本の森を護ろう!と
 言えば、多くの人は賛同
 しますが、なかなか具
 体的なアクションには至り
 ません。でも「子供が生
 まれたから記念樹を植え
 よう」「結婚の記念に樹
 を植えよう」となると、
 行動する方が多くなり
 ます。そこで、私たちの
 Present Tree (プレ
 ゼントツリー)は「人生
 の記念日に樹を植えよう
 !」と呼びかけ、植樹が
 必要な皆伐放棄地、災害
 跡地などに記念樹を植え
 て森を再生させるしくみ
 を二〇〇五年に始めまし
 た。植樹が必要なエリア
 は「地元だけでは森林再
 生がままならない地域」
 であり、過疎・高齢化の

東北 復興日記



環境リレーションズ
 研究所理事長
 鈴木敦子さん

105



記念樹から広がる森林再生

進むエリアでもありま
 す。

明書」を皆さまの手元
 にお届けし、以後十年にわ
 たりその樹を地元の方々
 と一緒に育てていきま

す。十年間しっかり皆さ
 まの記念樹をその森に維
 持し続けることで、初め

九年間で国内外二十四
 カ所の森づくりをお手伝
 いしてきましたが、この
 しくみが最も活きるのが
 東北被災地だと思いま
 す。東北第一弾は二二年
 十月に岩手県宮古市で始
 まりました。被災地への
 支援熱が冷め始めるこの
 タイミングで、十年かけ
 て都市と地元との交流を
 育み、当地の復興に真に
 寄り添えるプレゼントツ
 リーは地元からも大いに
 期待されています。

加者は主に首都圏をほじ
 めとする大都市の個人や
 法人の方々です。「大切
 な記念樹」は一本ごとに
 番号札を付けて「植林証

は「自分の記念樹」にだ
 け持っている、初め
 た愛着が森
 全体に広が
 り、森に行
 きたくな
 り、植樹地
 を訪れ、地
 域の人たち
 とも縁が生
 まれ、地域
 のにぎわい

という好循環を目指すの
 がプレゼントツリーで
 す。

そして、第二弾は宮城
 県大崎市での森づくり。
 市との森林整備協定締結
 式「写真」を経て、九月
 二十八日の日曜日に第一
 回の植樹イベントが開催
 (鳴子温泉駅集合)され
 ます。豊かな森で育まれ
 た水が江合川を通じ、大
 崎耕土の渡り鳥と共生す
 る農業を支えています。
 詳細は[http://www.
 presentree.jp/mki](http://www.presentree.jp/mki)。

この連載は、東京の
 NPO法人JKSK
 と、被災地の女性たち
 が協力して復興に取り
 組む「結結プロジェクト」の協力を得て、掲
 載しています。